

2(2) その他, 特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果, 世界的位置付けなど。(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

1. 学部学生の大学院への進学を促進し、臨床実習、臨床研修への円滑な導入を容易にすることを目的とした本学独自のアドバンス科目の充実を図った。5年次前期の「歯学基礎演習」において、英語論文等の読解を通して英語学術文献の利用方法を習得し、後期の「基礎研究実習」への有機的な連携を図った。また5年次、PBLチュートリアル方式の「歯学臨床ゼミ」により臨床課題の解決能力を身につけ、「臨床シミュレーション実習」にて臨床技術体得の基盤を習得し、5年次後期からの臨床実習へのスムーズな導入を実現した。
2. 6年次学生5人ごとのチューター制度導入により、クラス担任教授との連携のもと、きめの細かい学生支援体制が形作られた。毎月、クラス担任教授が中心となってチューター会議を開催し、各チューターが活動上経験した問題を全員で共有し、課題の抽出と解決策の検討を行っている。成績不振学生に対しては担当チューターが個別に面談し、修学上の指導に当たった。また本学卒業生である研修医をチューターの補助員(サブチューター)として配置し、学生を同世代の目線から支援する体制を整備した。
3. 大学院重点化がなされた歯学研究科、かつ全国唯一の歯学に特化した修士課程を有する研究科として、高い学位授与率を誇る。修士・博士課程ともに複数の教員による研究指導体制が確立され、1年次のテーマ選定会議により研究立案・プレゼンテーション能力の育成が図られる。また大学院研究基礎論により研究倫理の修得を必修としている。高学年次では研究科独自の競争的研究助成による国際発表を推進、最終年次では予備審査と本審査による段階的な学位審査を行うなど、きめ細かい段階的教育体制の整備ならびに実践が図られている。
4. 全国トップレベルの総合大学の歯学研究科として、他部局との連携による大学院教育体制を有する。具体的には、協力講座(加齢医学研究所、金属材料研究所)の設置、連携大学院(国際高等教育研究院、分子イメージング)の設置および他部局との単位互換があげられる。さらに学外研究機関との連携講座(国立長寿医療センター研究所、国立国際医療センター研究所)の新設、海外学術提携校との連携、インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウムの定期開催による異分野融合型教育を実践している。

特筆すべき研究活動

1. インターフェイス口腔健康科学の発信
 歯学研究科が提唱した次世代の歯学「インターフェイス口腔健康科学」を基盤に「第3回インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウム」を開催、世界各国からの参加者のもと、3本のシンポジウム及び100演題を越すポスター発表を行った。
 さらに海外サテライトシンポジウムとして、国際学術提携機関であるThe Forsyth Institute (Harvard University, USA)との合同シンポジウム: Tohoku-Forsyth Symposiumを、米国ボストンで開催した。研究科独自の競争的資金に基づき、若手研究者、大学院生を派遣、国際研究交流が実現した。
 本シンポジウムの成果は英文Monographシリーズ「Interface Oral Health Science」第3巻として編集中である。

2. 平成19年度文科省特別教育研究経費（大学間連携）「生体-バイオマテリアル高機能インターフェイス科学推進事業（東北大学歯学研究科・金属材料研究所、九州大学応用力学研究所）」の推進
 上記「インターフェイス口腔健康科学」を基盤とし、歯学の特質であるバイオマテリアルを用いた形態・機能の再建・創建をバイオマテリアルと生体（ホストとパラサイト）との界面の制御からアプローチする全く新しい研究事業を推進した。歯学の独自性ととも、幅広い研究領域に渡る本研究の普遍性を発信することとなった。
3. NEDO国際共同研究助成事業
 国際標準創成分野に「歯科用磁性アタッチメントの最適化と国際標準の創成」平成17・20年度採択。ISO国際規格としての認証に向け、活動中。
4. 経済産業省地域新生コンソーシアム研究開発事業
 「患者参加型歯科医療を実現する噛み合わせの立体可視化装置の開発」平成18・20年度採択
5. 厚生労働省科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）
 「小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究」平成18・20年度採択
6. 老人保健健康推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
 「介護予防における「口腔機能の向上」の推進に関する総合的研究」平成20年度採択
7. 鈴木治教授による「生理的骨再生を促進する新規機能性バイオマテリアルの開発」の発信。

特筆すべき社会貢献活動等

地域歯科保健推進室を設置，宮城県，仙台市ならびに地域歯科医師会と口腔保健推進にかかわる連携を推進。東北大学歯学会、研究科主催のフォーラム開催などの学術連携を推進．

- 1) 公開講座・講習会関連
 - ・初心者のためのインプラント治療セミナー（専門職向け）
 - ・歯学研究科がん口腔ケア特別研修の実施
- 2) 公開講座・講習会関連（専門職向け）
 - ・第3回東北大学乳幼児歯科保健従事者研修（宮城県から委託）
 - ・サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業教員研修
- 3) 公開講座・講習会関連（一般市民向け）
 - ・中学生大学探検（中学生の受け入れ）
 - ・みやぎ県民大学（講師派遣及び実施）
 - ・東北大学出前授業（地元高校への講師派遣）
 - ・仙台市歯と口の健康づくり市民の集い公開講座（講師派遣）
- 4) 歯学研究科・歯学部・東北大学病院附属歯科医療センター・ニュースレターの発行（年2回）
- 5) 宮城県歯科健診総合推進事業(宮城県からの依頼) 歯科健診の精度管理
- 6) 美里町・登米市との歯科保健推進に関わる協定の締結
 - ・美里町歯周疾患健診の支援
 - ・登米市歯つらつ歯科健診の支援
- 7) 仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議への参画（本会議・介護予防推進部会）